



発行所
東海教区教務所
 愛知県名古屋市中区
 門前町 1 番 23 号
 TEL 052-321-0028
 FAX 052-332-4097
 info@tokai-hongwanji.net

編集
 教務所長 熊谷正明
 東海教区委員会 広報部



**願記に関すること
 再度の確認です。**

○願記申請冥加金（教区願記手数料合）につきましては**現金書留**、又は**ご持参**くださいますようお願い申しあげます

○任期满后に伴う責任役員任命申請及び門徒総代届につきましては、満了日の**2ヶ月前**から書類を受理いたします

○願記の**べ切**について
 締切日の2週間前までに教務所まで提出いただきたくお願いいたします

教区寺青連盟×教区布教団
「あおぞら法話 アミダさまのおはなし」

日 時 8月28日(日)【午前の部】11:00~11:45【午後の部】12:15~13:00

テ ー マ 「伝える伝道」から「伝わる伝道」へ

講 師 山田 智敬さん (東海教区鈴鹿組存仁寺)
 大竹 章和さん (東海教区桑名組聞光寺)
 稲川 希生さん (岐阜教区岐厚組専願寺)

そ の 他 西別院なごやか縁市にて、青年布教使大会と併催です
 ※お問い合わせは教区担当【梅山】まで



仏青・少年・寺青「3団体合同同朋研修会」

日 時 9月12日(月) 19:00~21:00

会 場 本願寺名古屋別院 (Web 併用)

テ ー マ 『鬼滅の刃』で学ぶ仏教・人権問題

講 師 松崎 智海さん (北豊教区小倉組永明寺住職)

対 象 教区寺族青年、教区仏教青年連盟の会員、教区少年連盟指導者
 活動に関心のある有縁の皆さま

※お問い合わせは教区担当【梅山】まで



「第 42 回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要について」

第 42 回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要につきましては、新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、墓苑への参拝案内者を一部の来賓及び東京教区内に限って募集案内し、関係者のみでお勤めいたします。当日の様子は、宗派ホームページおよび宗派公式 YouTube チャンネルにてライブ配信いたしますので、ぜひインターネットを通じたご参拝をお願いします。

日 時 9月18日(日) 12:55~14:15

場 所 国立・千鳥ヶ淵戦没者墓苑<東京都>

12:55 宗門関係学校生徒作文表彰式
 13:15 平和の鐘
 13:20 平和宣言
 13:30 全戦没者追悼法要



 YouTube↑ 宗派 HP↑

※各寺におかれましても、平和の鐘(13:15~13:20)に合わせて、梵鐘(または喚鐘など)をお撞き下さいますようお願いいたします。

※詳細は宗派ホームページをご覧ください

「寺院ホームページ掲載について」

現在、東海教区・名古屋別院ホームページの「お寺を探す」ページにおきまして各寺院の住所を掲載しております。各寺院でホームページを開設し、リンクをご希望される際は、東海教区教務所まで URL をご連絡ください。

(間違えないようメールの題名に「ホームページ掲載依頼」をお願いします)

info@tokaihongwanji.net

※お問い合わせは教区担当【桂】まで

★4月以降に開催した各団体の行事や研修会に参加された声を紹介します★

★「御同朋の社会をめざす運動」東海教区委員会に参加して

6月27日（月）に対面とオンラインのハイブリッド形式で開催された東海教区実践運動委員会に現地参加しました。新型コロナウイルス感染症が広がる時期からの任期であったこともあり、初めて顔を合わせる方や数年ぶりに出会う方も大勢で、なんだか不思議な思いにもなりました。

パソコンの画面上でもある程度意思疎通できるようにはなりましたが、やはり直接会って話をすると情報量がちがいます。服装や声のトーン、話を聞くとときや話すときの姿勢などから、いろいろなことを受け取ります。つつい雑談に花が咲いてしまいました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響や、ロシアのウクライナ侵攻によって、今までの価値観が大きく変わりつつある昨今です。今回の顔合わせにより、東海教区全体や各教化団体から具体的なアクションが生まれてくることに期待します。

◎松野尾 浩慈（額田組明願寺）

★「寺院女性連盟総会・研修会」に参加して

6月23日（木）にWeb併用で開催されました東海教区寺院女性連盟総会・研修会にオンラインで参加させていただきました。

「ウクライナを通して、改めて「非戦平和」の学びを深める」というテーマで、本願寺派総合研究所の岡崎秀磨さんに、お話をさせていただきました。

中でも一番考えさせられたことは、平和のために寺院として何ができるのかということです。「寺院とは、肩書きや年代を問わず人々が集まれる場所であるから、『非戦平和』についても、いろいろな人が経験を語ったり、意見を出し合ったりしてつながれる場所なのでは」と言われたことが、心に残っています。

戦争を、遠い国で起こっていることとは思わず、日本でも過去の過ちを絶対に繰り返さないために、戦争について話し合う場をつくるのが、寺院としてできることなのではないでしょうか。戦争は過去のものではなく、向き合い続けなければならないのだと、この研修会で気付かせていただきました。

◎三松 紀子（中勢組西光寺）

★「第2連区寺族青年軟式野球大会」に参加して

6月20日（月）、三重県四日市市にある霞ヶ浦第3球場で開催された第2連区寺族青年軟式野球大会に参加しました。この大会も新型コロナウイルス感染症の影響で2年間中止となっていました。ですが、なんとか開催したいというそれぞれの監督さんの強い想いを受け、3年ぶりの開催となりました。

今回は岐阜教区ケンシズ、富山教区クレシャーズ、東海教区寺族青年野球部の3チームで試合をいたしました。

当日は梅雨入りにも関わらず、天候にも恵まれて野球日和になり、20代から60代の方々が汗水流しながら打って走って守ったりと、一生懸命な姿でプレーに取り組んでいました。

前回は東海教区が優勝をしましたので、今回も優勝を目指して頑張っていました。結果は残念ながら3位でした。優勝は岐阜教区でした。

来年の開催教区は岐阜教区です。再び東海教区が優勝を取り戻せるよう、チーム一丸となって頑張っていきたいと思います。

◎池村 祐樹（中勢組善行寺）



★「布教団研修会」に参加して テーマ「親鸞聖人の御生涯について学ぶ」 講師 今井雅晴さん

浄土真宗の宗祖・親鸞聖人。そのご生涯は波乱に満ちている。多くの創作物や戯曲の題材に取り上げられている。ドラマチックな展開にワクワクさせられる。しかしその内容は空想による補完も多い。遠く鎌倉時代に活躍された方であるうえ、膨大な著作を残してくださったにも関わらず本人の事績への言及は極端に少ない。先ごろまでその存在を疑問視されていくらいなのだ。

だからこそ、その人物像は自在である。純真な少年、情熱的な青年、愛情豊かな夫、思慮深い父として描かれる。強者に媚びず、弱者に寄り添う英雄的な姿が親しまれている。反体制の旗頭として担がれることすらあるのだ。

だがしかし。そんな伝奇的なご生涯を、確かな史料によって地に足の着いた存在として捉えていくのが歴史学的アプローチである。聖人ご在世の頃、どのような歴史的背景があったのか。その時代を生きた人々の習俗はどのようなものだったのか。同じ単語でも現代とでは意味が異なる。当時の価値観や表現を、現代のそれにあてはめることは歴史学的に問題があることに気づく時、聖人に対して抱いていた夢が打ち碎かれるかもしれない。

そして、そんなことは何の問題にもならない。

「真実は阿弥陀如来の御こころなり」(『註釈版聖典』678頁)

私たちが聖人のご生涯を通してきかせていただくのは、真実である。かならず仏にならせていただくいわれをききひらいていくのだ。聖人がよろこばれた真実の教えは時代を貫く。同じ教えをいただくのだから、私たちのよろこびは聖人と同じである。

もしも歴史学や国語学の観点から聖人の印象が変わったとしても、阿弥陀如来の智慧と慈悲のはたらきが変わることはない。仮に布教活動の上で不都合が生じたなら、それは聖人のご生涯を自分の主義主張に都合よく使ってしまったことの証明になるのではないだろうか。

歴史学の研究対象に優劣はない。勝者も敗者も、為政者も民衆も、すべての人々によって紡がれたのが歴史だからだ。その眼差しは厳しく、同時に温もりを感じさせる。講義内では「親子の断絶」として悲劇的に描かれることの多い聖人と善鸞との関係が、異なる見方で提示された。親子関係がこじれていく中、聖人の著述活動はより活発になっていく。この歴史的事実を、「親子によって教えが磨かれていったのだ」と見ていく時、過去の歴史が現代の私たちにつながっていることを実感させてくれた。たいへん感銘を受ける講義内容だったとお伝えしたい。

◎竹本 崇嗣 (刈谷布教所光照寺)

★「仏教婦人会連盟総会・研修会」に参加して

テーマ「持続可能な仏教婦人会活動の取り組みについて」 講師 花岡静人さん

7月8日(金)に開催された3年ぶりの総会は、新形式で本堂・オンラインの参加者で無事終了しました。

コロナウイルス感染症防止の為、予定の行事が全て中止になる状況に関係各位の皆様にはご心痛の事だったと拝察致します。

会長挨拶の中で「3年目で初めて皆様の前で挨拶が出来、感無量です。」と言葉に詰まる場面もありました。一日も早い終息と再会を願っております。

合 掌

◎河村 智子 (朝明組光輪寺)



東海教区行事案内

《8月》

- 19 日 (金) 広報部会 (Web)
- 22 日 (月) ~23 日 (火) 得度講習会
- 24 日 (水) 得度考査
- 28 日 (日) あおぞら法話
- 29 日 (月) 少年：サマーイベント
- 31 日 (水) スクール・ナーランダ MTG
(Web 併用)

《9月》

- 1 日 (木) 布教団：役員会 (Web 併用)
 - 12 日 (月) 仏青少年寺青合同同朋研修会
(Web 併用)
 - 18 日 (日) 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要
(Web 参拝)
- ※感染状況により予定を変更する場合があります

★本願寺名古屋別院より★



<寂如上人御祥月法要> ※晨朝勤行併修

8 月 15 日 (月) 6:30~

<盂蘭盆会> ※親鸞聖人御祥月法要併修

8 月 15 日 (月) 13:00~

<西別院なごやか縁市>

毎月 28 日 10:00~

<夕べの講座 (第 2 回) > 【わたしの正信偈】

8 月 22 日 (月) 17:00~19:00

講師 玉木 興慈 さん (大阪教区)

講題 『阿弥陀仏の本願と釈尊の出世本懐』

※お問い合わせは別院担当【青山】まで

<常例布教>

9 月 15 日 (木) ~16 日 (金)

それぞれに 10:30~、13:30~、

講師 山田 教尚さん (三県津市)

講題 『いのちの行方』

※お問い合わせは別院担当【寺西】まで

※最新情報はホームページでご確認ください。



西別院 HP↑

東海教区教務所より ※敬称略
敬弔

田俣 敏樹 (勢南組善覚寺衆徒)
佐々木 元麿 (額田組徳正寺住職)

願記に関すること 2022年度

【得度講習会 (宗務所)】

9 月 23 日 (金) 24 日 (土) …… 〆切 8 月 14 日

10 月 29 日 (土) 30 日 (日) …… 〆切 9 月 19 日

【得度考査 (宗務所)】

9 月 25 日 (日) …… 〆切 8 月 16 日

10 月 31 日 (月) …… 〆切 9 月 21 日

※今年度の得度習礼は、全日程を締切致しました。

【教師教修出願資格試験講習会・試験 (宗務所)】

講習 11 月 4 日 (金) …… 11 日 (金) …… 〆切 9 月 25 日

試験 11 月 14 日 (月) …… 15 日 (火) …… 〆切 10 月 5 日

【教師教修 (宗務所)】

通期 11 月 15 日 (火) …… 24 日 (木) …… 〆切 10 月 6 日

前期 11 月 15 日 (火) …… 19 日 (土) …… 〆切 10 月 6 日

2023年

後期 1 月 21 日 (土) …… 25 日 (水) …… 〆切 12 月 12 日

【巡讀許可申請資格試験講習会 (宗務所)】

12 月 6 日 (火) …… 7 日 (水) …… 〆切 10 月 17 日

〆切の 2 週間前に教務所まで

※お問い合わせは教区担当【富永・亀山】まで

◎今後の名古屋別院・東海教区教務所に関する各種行事等は、感染状況により予定を変更する場合があります